

MAXIVISTA

USERS MANUAL

目次

はじめに	3
システム要件	3
プライマリコンピュータ(拡張したい表示領域をもつ)	3
2 台目のコンピュータ(2 台目のディスプレイとして動作する)	3
ソフトウェアのインストール	5
製品版のインストール	5
評価版のインストール	5
ファースト スタート	5
ネットワークの設定	5
ファイアウォールの設定	6
Windows XP のファイアウォールの設定	6
Service Pack 2 を適用していない Windows XP	7
MaxiVista の複数ライセンスでの作業	8
アンインストール	9
製品版のアンインストール	9
評価版のアンインストール	9
アンインストール時の注意事項	9
使用方法	10
2 台目のディスプレイを有効にする	10
2 台目のディスプレイを無効にする	10
ミラー表示とプライマリ ディスプレイの拡張	10
2 台目のディスプレイの解像度を変更する	11
2 台目のディスプレイの配置を変更する	11
2 台目のディスプレイのフレーム レートを高速化する	12
「全画面」モードと「ウインドウ」モードを切り替える	13
起動時に 2 台目のディスプレイを有効にする	14
最後に使用した解像度を MaxiVista に記憶させる	14
ソフトウェアをアップデートする	14
MaxiVista のステータス 表示	15
トラブルシューティング	15
用語解説	16

はじめに

MaxiVista では、お使いのプライマリコンピュータの拡大表示用スクリーンとして、どのようなコンピュータでも使用することができます。プライマリコンピュータのプログラム ウィンドウを 2 台目のディスプレイにわたって拡大または拡張して、1 つの大きなワーク スペースを作ることができます。

また、MaxiVista では、お使いのコンピュータのスクリーン コンテンツを標準のイーサネットまたは無線 LAN 接続を通じて、別のコンピュータへミラー表示することもできます。表示データはシグナルロス無しでデジタル転送されるため、最高の画質が得られます。特許出願中の 仮想 VGA ドライバの技術を利用すれば、瞬時にデータを転送したり、CPU ロードの負荷を減らしたりすることができます。


マルチモニタ ソリューションを導入している場合でも、MaxiVista を使用すれば、追加用モニタとして別のコンピュータを追加できます。MaxiVista では、アドオンを使用することにより追加用ディスプレイとしてほかに 3 台のコンピュータを使用することができます。画面の最高解像度は、合計 4 台のコンピュータを使用した場合、12,800 x 1,200 ピクセルになり、オプションでそれぞれをデュアル モニタに設定した場合、1 台につき 3,200 x 1,200 ピクセルになります。


少なくとも、2 つのコンピュータを使用するため、MaxiVista のパッケージには 2 つのソフトウェア プログラムが含まれています。

1. 表示領域を拡張させるプライマリコンピュータのサーバー プログラム
2. 2 台目のディスプレイとして動作するコンピュータのビューア プログラム

ドキュメントの仕様

- この文書内の**太字部分**または括弧部分は、手順やメニュー項目などを表しています。
- ファイル名および Web ページ アドレスはイタリック体で表記されています。

 このシンボルは重要事項や便利なヒントを表しています。

サーバー プログラムのタスク バー アイコン  で MaxiVista のすべての設定ができます。アイコンを“右クリック”してプログラム メニューを開き、ポップアップ メニューからコマンドを選択します。ビューア プログラムには設定ダイアログがありません。

MaxiVista の用語については、16 ページの「[用語解説](#)」で説明します。

システム要件

MaxiVista を実行するには、お使いのシステムが、次の条件を最低限満たしている必要があります。

プライマリコンピュータ(拡張したい表示領域をもつ)

- Microsoft Windows XP (SP2を含む)/2000/2003。
- MaxiVista インストール用の 約 3 MB のハードディスク空き容量。
- オンライン マニュアルを表示するためのインターネット ブラウザ。
- オプション: アップデートのためのインターネット アクセス。
- オプション: オフライン文書を表示、印刷するための Adobe Reader。

2 台目のコンピュータ(2 台目のディスプレイとして動作する)

- Microsoft Windows 98/98SE/ME/NT4/2000/2003/XP (SP2を含む)。
- ビューア プログラム用の 約 500 KB のハードディスク空き容量。

プライマリコンピュータと 2 台目のコンピュータは、**Firewire** やワイヤレス LAN、‘クロスオーバー’ のイーサネット ケーブル、ネットワーク ハブなど、**TCP/IP** プロトコルと接続するネットワークを経由して接続する必要があります。

- ❗ パフォーマンスに影響する恐れがありますので、コンピュータのネットワーク接続の間に、ルーターやスイッチ、ファイアウォールを配置しないことをお勧めします。

ソフトウェアのインストール

MaxiVista の導入には、まずサーバー プログラムをプライマリコンピュータにインストールし、ビューア プログラムを 2 台目のコンピュータにインストールする必要があります。

- ❗ インストール中にスクリーンが数回ちらつきますが、これは正常です。インストール中にシステムがアイドル状態になっても、インストール完了のメッセージが表示されるまで待つ必要があります。

製品版のインストール

- ・ プライマリコンピュータで *Setup.exe* を実行します。
- ・ ウィザードのインストール画面が表示されるので、その手順に従います。
- ・ インストール中に、ビューア プログラム ファイルの *MaxiVistaViewerA.exe* が生成され、お使いの Windows のデスクトップ上に配置されます。
- ・ ネットワーク接続や、USB メモリスティックまたはフロッピーディスクを利用して、このビューア プログラム ファイルを 2 台目のコンピュータにコピーします。これでインストール作業は終了です。

評価版のインストール


評価版は、製品版とは多少異なるインストール方法になります。評価版では、1 つのネットワーク内に MaxiVista を複数組み合わせて使用することはできません。2 台目のディスプレイとして使用できるのは 1 台だけです。

評価版には、2 つの異なるインストールファイルがあります。

- ・ プライマリコンピュータで *MaxiVista_Setup_PrimaryPC.exe* を実行します。
- ・ 2 台目のコンピュータで *MaxiVista_Setup_SecondaryPC.exe* を実行します。
- ・ プライマリコンピュータ、2 台目のコンピュータそれぞれにウィザードのインストール画面が表示されるので、その手順に従います。

ファースト スタート

サーバー プログラムとビューア プログラムを起動します。

MaxiVista は 2 台目のディスプレイを自動的に有効にします。2 台目のディスプレイが有効になっている場合は、緑色のタスクバーアイコン  で表示されます。15 ページの「[MaxiVista のステータス 表示](#)」を参照してください。

プライマリコンピュータのタスクバーにあるサーバープログラムのアイコンをダブルクリックして、手動で 2 台目のディスプレイを(非)アクティブにすることもできます。

- ❗ デフォルトでは、MaxiVista の 2 台目のディスプレイはプライマリコンピュータのモニタの右側に配置されているものと仮定します。デフォルトと異なる配置にする場合には、11 ページの「[2 台目のディスプレイの配置を変更する](#)」を参照してください。

ネットワークの設定

デフォルトでは、MaxiVista のサーバー プログラムはネットワーク上のビューア プログラムを自動的に検出します。マルチネットワーク用アダプタをインストールしている場合、接続する 2 台目のコンピュータのネットワーク アダプタの IP アドレスを入力することができます。プライマリコンピュータのタスクバーにあるサーバープログラムのアイコンを右クリックして、[設定]の[ネットワークオプション]をクリックします。[IP アドレスビューア]が開くので、[手動]をクリックして下のボックスに 2 台目の

コンピュータのネットワークアダプタの IP アドレスを入力します。IP アドレスが正しく入力されたことを確認してから、[OK]をクリックします。

- ❗ **Windows XP** で複数のネットワーク アダプタを使用する場合は、(**Windows XP** のバグにより) パフォーマンスが低下するのを回避するため、アダプタごとに別のサブネットを設定することを強くお勧めします。
- ❗ 無線 LAN 環境でご使用の場合は、パフォーマンスを最適化するために、プライマリコンピュータのタスクバーにあるサーバープログラムのアイコンを右クリックして、[設定]の[WiFi]オプションを有効にしてください。
- ❗ 有線 LAN 環境では[WiFi]オプションを無効にした状態でご使用ください。
- ❗ [WiFi]オプションの設定を”有効”から”無効”に変更した場合、パフォーマンスが低下する場合があります。この場合はプライマリコンピュータのタスクバーにあるサーバープログラムのアイコンを右クリックして、[2 台目のディスプレイを無効化]をクリックします。つぎに再度タスクバーにあるサーバープログラムのアイコンを右クリックして、[2 台目のディスプレイを有効化]をクリックします。

ファイアウォールの設定

- ❗ ファイアウォールの設定はとても重要です。

次のポートが利用できることを確認してください。

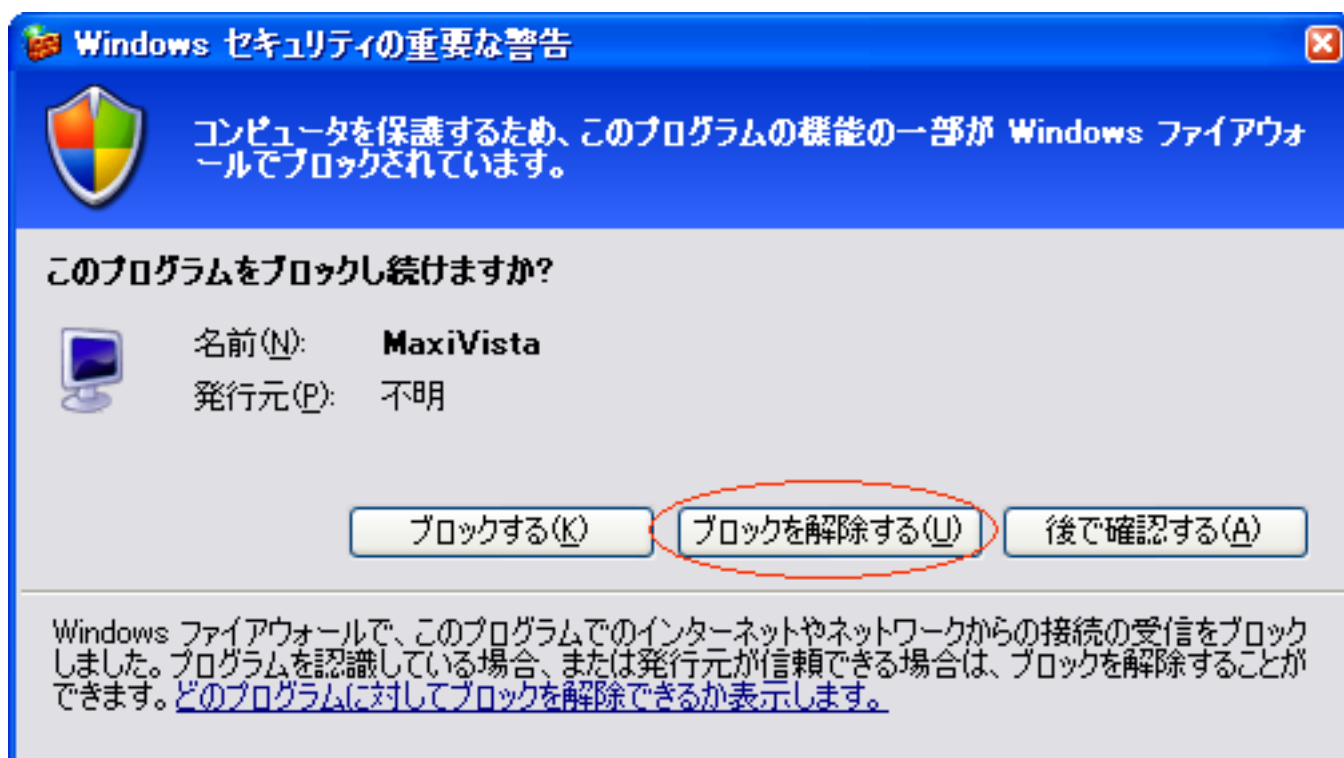
	2 台目のコンピュータの UDP ポート	プライマリコンピュータの TCP ポート
評価版	5999	5950
製品版	6000	5951

ポート接続の設定方法については、ご利用のファイアウォールに付属している説明書をお読みください。

Windows XP のファイアウォールの設定

Windows XP Service Pack 2

Windows XP Service Pack 2 または ZoneAlarm などのファイアウォールをご使用の場合は、要求に応じて MaxiVista のブロックを解除してください。

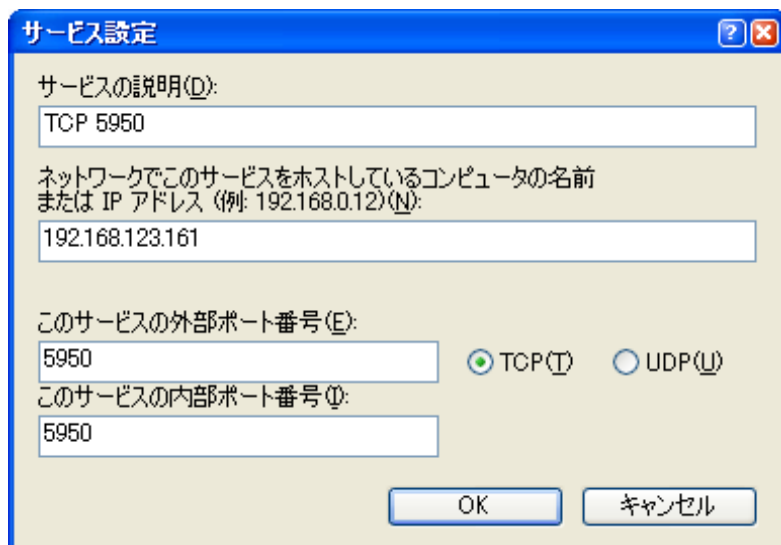


MaxiVista がネットワークからの接続をブロックするよう誤って設定されている場合には、Windows の[スタート]、[コントロール パネル]、[セキュリティ センター]の順に選択して[Windows ファイアウォール]ダイアログを開き、[例外]タブの[プログラムおよびサービス]リストにある“MaxiVista”のチェックボックスをオンにして、MaxiVista に対するブロックを解除します。

Service Pack 2 を適用していない Windows XP

Windows XP に SP2 をまだインストールしていない場合は、次の手順に従って、Windows XP の組み込みファイアウォールでコンピュータを保護します。

まず、プライマリコンピュータの[スタート]ボタンをクリックして[マイネットワーク]へマウスを移動します。[マイネットワーク]を右クリックして、メニューにある[プロパティ]をクリックします。[ネットワーク接続]の画面が開くので、2 台目のコンピュータに接続するネットワーク アダプタを選択し、そのアダプタを右クリックします。次に、[プロパティ]メニューを選択して、[詳細設定]タブを開いたら、「インターネット接続ファイアウォール」のチェックボックスにチェックをつけます。画面下の[設定]ボタンをクリックして[詳細設定]画面を開きます。画面が開いたら[サービス]タブ内にある[追加]ボタンをクリックして、[サービス設定]画面で次の情報を入力します。[サービスの説明]に“TCP 5950” (MaxiVista 製品版をご使用の場合は“TCP 5951”)を、[IP アドレス]に 2 台目のコンピュータに接続する プライマリコンピュータの IP アドレスを、[外部ポート番号]および[内部ポート番号]に“5950” (製品版は 5951)を入力します。[TCP]ラジオボタンをオンにし、最後に[OK]ボタンをクリックします。



サービス設定

サービスの説明(D):
TCP 5950

ネットワークでこのサービスをホストしているコンピュータの名前
または IP アドレス (例: 192.168.0.12)(N):
192.168.123.161

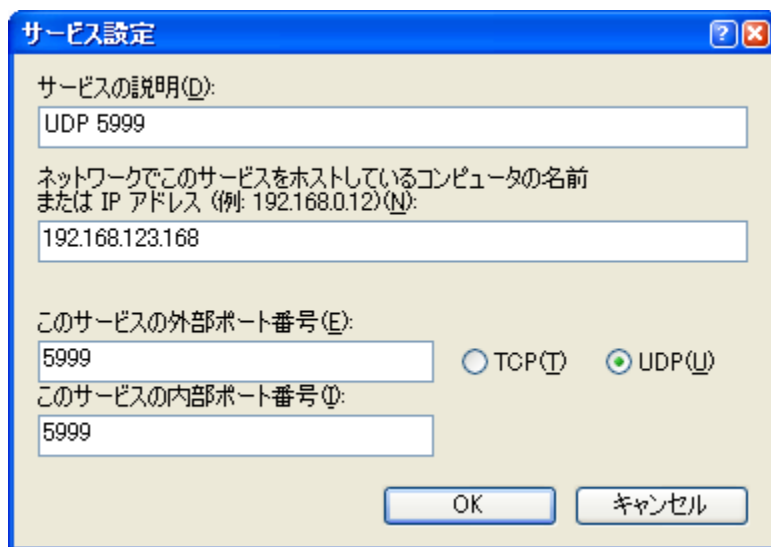
このサービスの外部ポート番号(E):
5950

このサービスの内部ポート番号(I):
5950

☒ TCP(T) ☐ UDP(U)

OK キャンセル

2 台目のコンピュータも Windows XP SP1 の場合は上記プライマリコンピュータと同様の設定をします。まず、2 台目のコンピュータの[スタート]ボタンをクリックして[マイネットワーク]へマウスを移動します。[マイネットワーク]を右クリックして、メニューにある[プロパティ]をクリックします。[ネットワーク接続]の画面が開くので、プライマリコンピュータに接続するネットワークアダプタを選択し、そのアダプタを右クリックします。次に、[プロパティ]メニューを選択して、[詳細設定]タブを開いたら、「インターネット接続ファイアウォール」のチェックボックスにチェックをつけます。画面下の[設定]ボタンをクリックして[詳細設定]画面を開きます。画面が開いたら [サービス]タブ内にある[追加]ボタンをクリックして、[サービス設定]画面で次の情報を入力します。[サービスの説明]に“UDP 5999” (MaxiVista 製品版をご使用の場合は“UDP 6000”)を、[IP アドレス]にプライマリコンピュータに接続する 2 台目のコンピュータの IP アドレスを、[外部ポート番号]および[内部ポート番号]に“5999” (製品版は 6000)を入力します。[UDP]ラジオボタンをオンにし、最後に[OK]ボタンをクリックします。



サービス設定

サービスの説明(D):
UDP 5999

ネットワークでこのサービスをホストしているコンピュータの名前
または IP アドレス (例: 192.168.0.12)(N):
192.168.123.168

このサービスの外部ポート番号(E):
5999

このサービスの内部ポート番号(I):
5999

☐ TCP(T) ☒ UDP(U)

OK キャンセル

シマンテック社やトレンドマイクロ社などのファイアウォール機能を持つセキュリティソフトを使用している場合には、UDP ポートおよび TCP ポートを開放する方法についての資料をご参照ください。

MaxiVista の複数ライセンスでの作業

MaxiVista は、プライマリコンピュータとして使用する台数分のライセンスが必要です。それは、ライセンス ポリシーのほかに技術的な理由があるからです。各ライセンス キーで、MaxiVista をインストールすると、ライセンスごとに固有のサーバー プログラムとビューア プログラムを動的に作成します。この構造により、同じネットワーク上にある複数のビューア プログラムは、対応するサーバー プログラムの画像の内容を表示することができます。

- ❶ ‘A’ というライセンス キーで MaxiVista をインストールして作成されたビューア プログラムは、‘B’ というライセンス キーのサーバー プログラムと一緒に使用することはできません。

アンインストール

製品版のアンインストール

MaxiVista サーバーをアンインストールするには、プライマリ コンピュータで、[スタート] ボタンの [プログラム] メニューから [MaxiVista] を選択し、[MaxiVista サーバーのアンインストール] をクリックします。ウィザードのアンインストール画面が表示されるので、その手順に従います。

ビューア プログラムは *MaxiVistaViewer.exe* を削除します。これでそのコンピュータから完全にアンインストールできます。プログラム フォルダ **C:\Program Files\MaxiVista** が削除されているかどうかを確認します。削除されていない場合は、Windows のファイル エクスプローラでプログラム フォルダを削除してください。

評価版のアンインストール

MaxiVista 評価版サーバーをアンインストールするには、プライマリ コンピュータで、[スタート] ボタンの [プログラム] メニューから [MaxiVista 評価版] を選択し、[MaxiVista 評価版 サーバーのアンインストール] をクリックします。ウィザードのアンインストール画面が表示されるので、その手順に従います。

MaxiVista 評価版ビューアをアンインストールするには、ビューアをインストールしたコンピュータで、[スタート] ボタンの [プログラム] メニューから [MaxiVista 評価版 ビューア] を選択し、[MaxiVista 評価版 ビューアのアンインストール] をクリックします。ウィザードのアンインストール画面が表示されるので、その手順に従います。

プライマリコンピュータで、プログラムフォルダ **C:\Program Files\MaxiVista 評価版** が削除されているかどうかを確認します。削除されていない場合は、Windows のファイル エクスプローラでプログラム フォルダを削除してください。

アンインストール時の注意事項


- ❶ 仮想グラフィック アダプタドライバを削除するには、プライマリコンピュータを再起動する必要があります。

仮想グラフィック アダプタドライバが削除されていない場合には、次のように手作業で実行することもできます。まず、Windows 2000 ではプライマリコンピュータのデスクトップ上にある [マイコンピュータ] アイコンを右クリックし、メニューにある [プロパティ] をクリックします。Windows XP と Server 2003 では、プライマリコンピュータの [スタート] ボタンをクリックして、[マイコンピュータ] へマウスを移動します。[マイコンピュータ] を右クリックして、メニューにある [プロパティ] をクリックします。[システムのプロパティ] ダイアログボックスが開くので、[ハードウェア] タブの [デバイス マネージャ] ボタンをクリックし、[ディスプレイ アダプタ] をダブル クリックします。アダプタのリストに “MaxiVista” とつくアイコンが残っていれば、右クリックして [削除] を選択し、アダプタを削除します。その後、コンピュータを再起動します。

- ❶ Windows 2000 では、仮想グラフィック アダプタのアンインストール オプションを有効にするには、コンピュータを再起動後、**C:\WINNT\system32\drivers** フォルダから *maxidemo.sys* ファイル (評価版) または *maxivista.sys* ファイル (製品版) を削除する必要があります。

使用方法

2 台目のディスプレイを有効にする

サーバー プログラムがプライマリコンピュータで実行中であり、ビューア プログラムが 2 台目のコンピュータで実行中であることを確認してください。プログラムが実行中であれば、両方のコンピュータに黄色のタスク バーアイコン  が表示されます。(15 ページの「[MaxiVista のステータス 表示](#)」を参照してください。

次のいずれかの方法で、2 台目のディスプレイを有効にすることができます。

- プライマリコンピュータのタスクバーにあるサーバープログラムのアイコンを右クリックします。ポップメニューから[**2 台目のディスプレイを有効化**]をクリックします。
- サーバー プログラムのタスクバー アイコンをダブル クリックします。
- サーバー プログラムのポップアップ メニューから[**設定**]をクリックし、2 台目のディスプレイの解像度や色の深度を設定します。ただし、ここでは標準の画面の解像度が表示されます。
- 画面の解像度を 3200 x 1200 ピクセルまで高く設定したり、ポートレート モードに設定したりするには、まず、Windows のデスクトップ上で右クリックして、[**プロパティ**]メニューを選択します。次に、[**画面のプロパティ**]ダイアログボックスの[**設定**]タブで MaxiVista の 2 台目のディスプレイアイコンを選択し、画面の解像度を設定します。[**Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする**]を有効にして、最後に、[**OK**]ボタンをクリックします。

2 台目のディスプレイが有効になった後、両方の画面に短いフリッカーが起こります。
有効化に失敗した場合には、15 ページの「[トラブルシューティング](#)」を参照してください。

2 台目のディスプレイを無効にする

次のいずれかの方法で、2 台目のディスプレイを無効にすることができます。

- プライマリコンピュータのタスクバーにあるサーバープログラムのアイコンを右クリックします。ポップメニューから[**2 台目のディスプレイを無効化**]をクリックします。
- サーバー プログラムのタスクバー アイコンをダブル クリックします。
- ポップアップ メニューで[**終了**]をクリックして、サーバー プログラム、あるいはビューア プログラムを終了します。この方法の不便な点は、2 台目のディスプレイを再有効化したい場合に、サーバー プログラムがネットワーク上のビューア プログラムを再検出するのに時間がかかることです。
- 2 台目のコンピュータをシャットダウンするか、ネットワーク ケーブルを抜きます。しばらくすると、2 台目のディスプレイは自動的に無効となります。

❗ 2 台目のディスプレイが無効になった後、両方の画面に短いフリッカーが起こります。

ミラー表示とプライマリ ディスプレイの拡張

プライマリコンピュータのタスクバーにあるサーバープログラムのアイコンを右クリックします。[**設定**]の[**ミラー表示**]オプションを有効にすると、サーバー コンピュータのスクリーン コンテンツをビューア コンピュータへ複製します。



サーバーコンピュータのデスクトップ領域をビューア コンピュータへ拡張する場合は、[ミラー表示]オプションを無効にすると、ビューア コンピュータに拡張した仮想画面が転送されます。サーバー コンピュータのデスクトップ領域からプログラム ウィンドウを移動すると、ビューア コンピュータの画面上にプログラム ウィンドウが表示されます。



2 台目のディスプレイの解像度を変更する

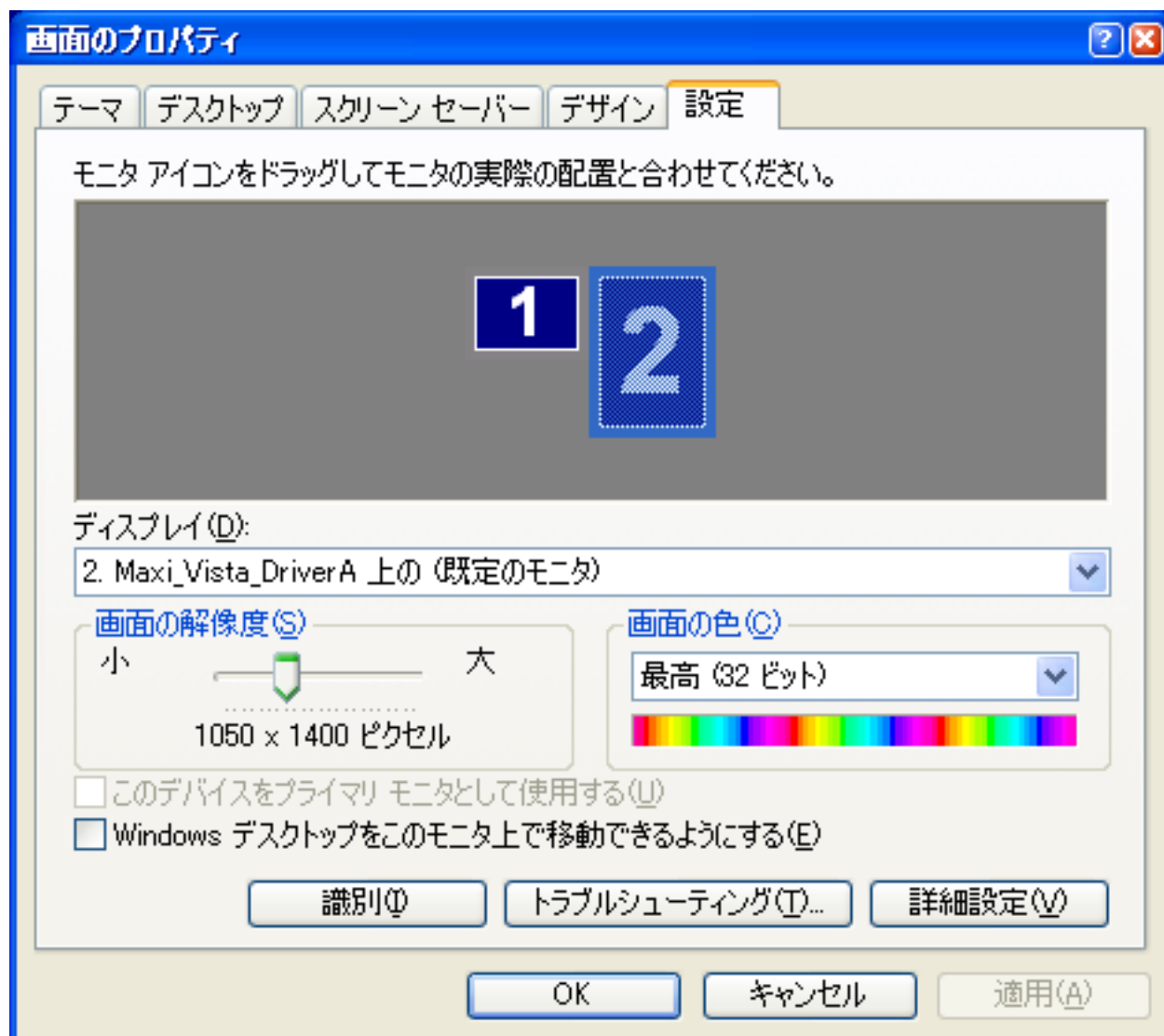
プライマリコンピュータのタスクバーにあるサーバープログラムのアイコンを右クリックします。ポップメニューから[設定]を選択し、2 台目のディスプレイの解像度や色の深度を設定します。ただし、ここでは標準の画面の解像度が表示されます。画面の解像度を 3200 x 1200 ピクセルまで高く設定したり、ポートレート モードに設定したりするには、まず、Windows のデスクトップ上で右クリックして、[プロパティ]メニューを選択します。次に、[画面のプロパティ]ダイアログボックスの[設定]タブで MaxiVista の 2 台目のディスプレイアイコンを選択し、画面の解像度を設定します。[Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする]を有効にして、最後に、[OK]ボタンをクリックします。

[最後に使用した解像度を記憶]オプションを無効にすると、MaxiVista は、常に 2 台目のコンピュータに設定した画面の解像度を使用します。

[ミラー表示]モードでの画面の解像度を変更する場合は、2 台目のコンピュータの画面解像度を変更してください。

2 台目のディスプレイの配置を変更する

Windows の[画面のプロパティ]ダイアログ ボックスで、2 台目のモニタの配置を自由に設定することができます。Windows のデスクトップ上で右クリックして、[プロパティ]をクリックした後、[画面のプロパティ]ダイアログボックスの[設定]タブをクリックします。構成に対応するようにモニタアイコンを配置します。



この[画面のプロパティ]ダイアログボックスは、プライマリコンピュータのタスクバーにある MaxiVista のポップアップメニューから簡単に表示することもできます。MaxiVista のアイコンを右クリックして、[設定]メニューにある[...]をクリックします。

配置および画面の解像度を設定すると、2 台目のディスプレイはポートレートモード(縦表示)に切り替わります。MaxiVista の[設定]メニューにある[180 度回転]オプションを有効にすると、画面が 180 度回転します。オプションや解像度の設定を組み合わせ、0 度や 90 度、180 度、270 度に設定することもできます。

2 台目のディスプレイのフレーム レートを高速化する

フレーム レートは、選択した画像の解像度や、色の深度、ネットワーク接続の帯域幅、画像内容の変更容量によって決まります。次の設定を利用して、MaxiVista のパフォーマンスを最適化することができます。

- Windows デスクトップの背景をイメージや写真ではなく、単色に設定します。この設定は、プライマリコンピュータで行います。Windows XP と Server 2003 では、デスクトップ上で右クリックし、[プロパティ]をクリックします。[画面のプロパティ]ダイアログボックスの[デスクトップ]タブをクリックします。[背景]のリストから“なし”(1 番目)を選択します。Windows 2000 では、デスクトップ上で右クリックし、[プロパティ]をクリックします。[画面のプロパティ]ダイアログボックスの[背景]タブをクリックします。表示されているリストから“なし”(1 番目)を選択します。
- MaxiVista がアクティブになっている場合には、接続しているコンピュータ間での大きなファイルの転送を無効にするなど、ほかのネットワークトラフィックを制限します。

- サーバーと2台目のコンピュータの間にルーターまたはスイッチやファイアウォールを配置していると、速度が減速します。MaxiVista には、クロスオーバー イーサネット ケーブルなどの専用のネットワーク接続を使用します。
(www.maxivista.jp/lan.html を参照してください)
- 無線 LAN とイーサネット接続を一緒に使用するなど、同時に複数のネットワーク アダプタを有効にしている場合、Windows XP のバグが原因でネットワークの速度が急激に低下することがあります。MaxiVista で使用していないアダプタをすべて非アクティブにするか、サブネットを共有しているアダプタを無効にします。
- 画面の色や2台目のディスプレイの解像度を低く設定します。画面の色を24ビットに設定するより16ビットに設定する方が、パフォーマンスは30%向上します。解像度や色の設定は、プライマリコンピュータのデスクトップ上で右クリックし、[プロパティ]メニューを選択した後、[画面のプロパティ]ダイアログボックスの[設定]タブで行うことができます。

「全画面」モードと「ウィンドウ」モードを切り替える

2台目のディスプレイの内容(プライマリコンピュータの拡張領域)は、2台目のディスプレイ上のウィンドウ、あるいは全画面で表示することができます。プライマリコンピュータのタスクバーにあるサーバープログラムのアイコンを右クリックして、[設定]メニューの[2台目のディスプレイを全画面で使用]を有効にすると、2台目のディスプレイ全画面が表示領域として使用できます。2台目のコンピュータの画面の解像度が、プライマリコンピュータで指定した2台目のディスプレイの解像度より高い設定の場合、画像は画面に合うようにズームされます。

- ❶ フラットパネル ディスプレイをご使用の場合、画面が多少ぼやけることがあります。これは、ディスプレイモニタが画像を実際より高い画面の解像度と想定しているからです。
- ❷ 2台目のディスプレイの解像度が2台目のコンピュータの画面の解像度と一致した場合は、最適な画像が取得できません。

ディスプレイ モードの概要

		
ウィンドウ モード	全画面 モード	画面に合わせる モード
2台目のディスプレイの画面内容が2台目のコンピュータの画面上にあるウィンドウに表示されます。	2台目のディスプレイの内容が2台目のコンピュータ画面の解像度と一致して、全画面で表示されます。	2台目のディスプレイの画面内容が変更した解像度に合わせて2台目のコンピュータ画面にズームされます。
長所	長所	長所
2台目のディスプレイおよび2台目のコンピュータ自身の画面の内容を同時に表示する場合に最適です。	最適な解像度を備えたデフォルトのモードです。	2台目のディスプレイを拡大鏡として使用できます。
必要な設定	必要な設定	必要な設定
[2台目のディスプレイを全画面で使用]を無効にして、[設定]で、2台目のディスプレイの解像度を設定します。この解像度は、2台目のコンピュータで設定されているものより低くします。	[最後に使用した解像度を記憶]を無効にして、[2台目のディスプレイを全画面で使用]を有効にします。	[2台目のディスプレイを全画面で使用]を有効にして、[設定]で、2台目のディスプレイの解像度を設定します。この解像度は、2台目のコンピュータで設定されているものより低くします。例えば、1024 x 768、16-bit color で設定されている場合は、800 x 600、16-bit color へ変更します。

起動時に 2 台目のディスプレイを有効にする

プライマリコンピュータのタスクバーにあるサーバープログラムのアイコンを右クリックして、[設定]メニューの[起動時に自動接続]オプションを有効にします。2 台目のディスプレイは、サーバー プログラムおよびビューア プログラムの起動時に自動的に有効になります。ただし、サーバー プログラムおよびビューア プログラムについては、手動で起動する必要があります。

これを自動化するには、サーバープログラム アイコンをプライマリコンピュータの Windows スタートアップフォルダにコピーします。Windows の[スタート]ボタンをクリックして、[プログラム]メニューの[スタートアップ]へマウスを移動します。[スタートアップ]を右クリックして、[開く]を選択します。[スタートアップ]フォルダが開くので、サーバープログラムアイコンをコピーします。同様に 2 台目のコンピュータでビューア プログラム アイコンをスタートアップ フォルダにコピーします。プログラム アイコンをコピー後、機能を有効にするためにコンピュータを再起動します。両方のコンピュータでシステムが起動すると、2 台目のディスプレイが自動的に有効になります。

- ❗ サーバー プログラムで 2 台目のディスプレイを無効にすると、[起動時に自動接続]オプションは一時的に無効になります。これは、サーバー プログラムが、すぐに 2 台目のディスプレイを再有効化できないためです。サーバー プログラムを再起動すると、オプションが再度有効になります。

最後に使用した解像度を MaxiVista に記憶させる

プライマリコンピュータのタスクバーにあるサーバープログラムのアイコンを右クリックして、[設定]メニューの[最後に使用した解像度を記憶]オプションを有効にします。

このオプションを無効にすると、MaxiVista は 2 台目のコンピュータで設定されている画面の解像度と色を使用します。2 台目のコンピュータの画面の解像度や色を変更したい場合は、まず、2 台目のコンピュータのデスクトップ上で右クリックしてから[プロパティ]メニューをクリックします。次に、[画面のプロパティ]ダイアログボックスの[設定]タブをクリックします。ここで任意の画面の解像度や色に変更して、[OK]をクリックします。設定を保存するかどうかの確認画面が表示されますので、画面の指示に従い[OK]、[はい]をクリックします。

[設定]では、使用できる画面の解像度のうち、デフォルトで使用されている解像度が強調表示されています。

ソフトウェアをアップデートする

注意:この機能を評価版で使用することはできません。




プライマリコンピュータをインターネットに接続し、サーバー プログラムのポップアップ メニューから[MaxiVista の Web サイト]の[アップデートを確認]をクリックすると、アップデートの有無が確認できます。

- ❗ アップデートのチェックは、1 ヶ月に 2、3 回で十分です。

MaxiVista は個人データや極秘データを転送しません。ただし、ライセンスキーの一部や現在インストールしているバージョン ナンバーは転送します。アップデートを確認したら、Web サイトの指示に従ってアップデートを実行します。

MaxiVista を自動的に最新の状態にしたい場合には、[自動的にアップデートを確認する]オプションを有効にしてください。この設定は、ソフトウェアをインストールすると、デフォルトで有効になっています。

MaxiVista には、3 種類のステータス表示があり、タスク バー アイコンが色別に表示されます。

 黄色の点滅	点滅している場合は、サーバー プログラムがネットワーク上にあるビューアを探しています。時間が経つと、点滅の回数が減少します。
 黄色	サーバー プログラムがネットワーク上のビューアを検出しました。ただし、2 台目のディスプレイはまだ有効ではありません。
 緑色	2 台目のディスプレイは有効です。

トラブル シューティング

❗ 「トラブル シューティング」の最新版については、[技術情報](#) でご覧いただけます。

まずは、お使いの MaxiVista が最新版のものかどうかを確認してください。(14 ページの「[ソフトウェアをアップデートする](#)」を参照してください。)

❓ ソフトウェアをインストール後、プログラムを起動しましたが、MaxiVista のタスク バー アイコンが表示されません。

- ▶ これは Windows XP をご使用の場合に起こります。まず、[スタート]ボタンを右クリックして、[プロパティ]メニューをクリックします。[タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ]ダイアログボックスの[タスクバー]タブにある、[タスクバーを自動的に隠す]チェックボックスをオフにします。これで、Windows は MaxiVista のタスク バー アイコンを表示するはずです。

❓ タスク バー アイコンが黄色く点滅したままで、2 台目のディスプレイが有効になりません。

- ▶ サーバー プログラムおよびビューア プログラムが両方とも実行中であるかを確認してください。サーバー プログラムがネットワーク上のビューアを検出していなければ、アイコンは定期的に黄色く点滅します。この場合には、両方のコンピュータが、TCP/IP プロトコルを経由して同じネットワークで接続されているかを確認します。デスクトップ上、あるいは Windows の[スタート]メニューにある[マイネットワーク]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。画面に表示される[ローカルエリア接続](あるいは、両方のコンピュータをリンクするネットワーク接続名)を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。[ローカルエリア接続のプロパティ]ダイアログボックスの[全般]タブで[インターネットプロトコル(TCP/IP)]が有効になっていることを確認します。
- ▶ サーバープログラムの[設定]メニューにある[ネットワークオプション]の[IP アドレスビューア]で[手動]を選択した場合は、2 台目のコンピュータの IP アドレスが正しく入力されているかを確認します。
- ▶ 5 ページの「[ネットワークの設定](#)」を参照して、ファイアウォールやルーター、スイッチが UDP や TCP ポートを閉じていないかを確認します。

❓ 2 台目のコンピュータにおける画像のフレーム レートが最近遅くなっています。

- ▶ 12 ページの「[2 台目のディスプレイのフレーム レートを高速化する](#)」をご参照ください。

❓ Microsoft Windows の Media Player などビデオを再生中に、黒いフレームだけが表示されます。

- ▶ Media Player の設定で、ビデオ アクセラレータを無効にします。Media Player 7 以降をご使用の場合は、[ツール]メニューの[オプション]をクリックして、[パフォーマンス]タブで設定します。Media Player 6.4 およびそれ以前のバージョンをご使用の場合は、[表示]メニューの[オプション]をクリックして、[再生]で設定します。いずれの場合も、[ビデオ アクセラレータ]のスライダを“なし”に設定します。
 - ▶ Windows の[画面のプロパティ]ダイアログ ボックスで、両方のコンピュータに同じ画面の色を設定します。デスクトップ上で右クリックして、[プロパティ]メニューを選択します。[画面のプロパティ]ダイアログ ボックスの[設定]タブで設定します。
- ？ 2 台目のディスプレイの画像がぼやけています。
- ▶ シャープな画像にするには、プライマリコンピュータのタスクバーにあるサーバープログラムのアイコンを右クリックして、[設定]メニューの[2 台目のディスプレイを全画面で使用]オプションを無効にします。あるいは[設定]メニューで表示される解像度一覧の中から、2 台目のコンピュータに設定した解像度を選択します。
 - ▶ あるいは、[最後に使用した解像度を記憶]オプションを無効にします。そうすると、MaxiVista は、2 台目のコンピュータに設定した解像度を自動的に取得します。

用語解説

プライマリ コンピュータ	表示領域を拡大したいコンピュータ。
2 台目のコンピュータ	2 台目のディスプレイとして動作するコンピュータ。
サーバー プログラム	2 台目のコンピュータへ拡張領域の内容を転送する MaxiVista のプログラム。ソフトウェアはプライマリ コンピュータへインストール。
ビューア プログラム	プライマリ コンピュータの拡張領域の内容を表示する MaxiVista のプログラム。ソフトウェアは 2 台目のコンピュータへインストール。
2 台目のディスプレイ	追加のモニタとして使用する 2 台目のコンピュータのモニタ ディスプレイ。